

夏休みが明けて

長い夏休みが明けて、学校に活気が戻ってきました。学校に行くのを楽しみにしていた子、久しぶりの学校が不安でドキドキしていた子、一人ひとり様々な思いをもって、登校してきた様子でした。「おはよう」「会いたかったよ」と声をかけると、たくさんの笑顔が返ってきてほっとしました。

夏休みを境に、転入や転出もありました。

転入のお子さんは、きっと、より一層ドキドキして登校してきたことと思います。初日から、クラスの子どもが休み時間に学校案内をしている場面を見かけました。「ここではこんなことができるんだよ」と言いながら一緒に歩く姿を見て、文庫小学校で楽しい学校生活が送れますようにと、ほっこりした気持ちになりました。

あるクラスでは、初日のクラスレクで、係の子どもが出したクイズの答えが「ガリガリ君」。「(転出した)〇〇くんが好きだったからね〜。」と、転出した子どもを思い浮かべながら出題したようです。それを聞いて、「そうだね〜。」と、別の子どもも応じます。転出しても、子どもたちの中に、友達はずっと存在しているということに温かいクラスの雰囲気を感じます。

あるクラスでは、大切なものについて話し合う活動をしました。活動のねらいは「互いの感情や意見の違いを認めながら調整しようとする」ことなので、正しい結論を見つけることが重要なものではありません。

活動の流れは、大体次の通りです。

- ①個人で大切なものの順位と理由をワークシートに書き込む。
- ②グループで個人の考えを出し合いながら順位を決める。
- ③グループで話し合ったことを発表する。
- ④活動の振り返りをする。

ワークシートに書かれていた言葉は、「家族」「お金」「思い出」「命」「友だち」「夢」「勉強」。みなさんだったら、どのような順位をつけますか。そのクラスのグループごとの話し合いの結果は次の表です。

家族	1	1	2	1	2	2	3
お金	4	4	5	7	4	4	7
思い出	5	7	4	5	5	6	5
命	2	2	1	3	1	1	1
友だち	3	3	3	2	3	3	4
夢	6	5	7	6	6	5	6
勉強	7	6	6	4	7	7	2

ほとんどのグループが「命」を1位か2位にする中、一つのグループだけ、「家族」「友だち」を命より上位にしていました。その理由は、家族や友だちが自分のことを守ってくれるからだったそうです。家族や友だちを信頼する考え方は、命を大切にすることにつながっているんですね。

子どもたちの振り返りシートから

- ・みんな一人ひとり大切な基準がある。
- ・もっと家族を大切にしたい。
- ・家族や友だち、身近にあるものをもっと大切にしたい。
- ・みんなに感謝。
- ・自分とは全く違う考えの人もいて、そういう考えがあるのかと思った。
- ・一人ひとり意見が違って面白かった。違う考えにも納得できた。
- ・みんなの意見を尊重する力を伸ばせた。
- ・人によって価値観が違うことが分かった。

学校の環境整備

夏休み中に体育館の床をきれいにする
工事を行いました。
傷や塗装の剥がれを一新して、
ピカピカになりました。
きれいな状態を保てるよう、
大切にしていきたいと思えます。



体育館には、大型冷風機も配置されました。
夏休みの特別音楽クラブの活動の際には、
冷風機のおかげで、だいぶ快適に過ごせました。
これからはばらくは
冷風機の活躍が期待されます。



昨年度、PTA会費で購入したミスト。
暑い時期に、大活躍です。
安全で快適な学校生活が送れるように、
毎日稼働させています。
気持ちよさそうに、ミストの下に立ち止まっている
子どもたち。時には、じっと立ち止まりすぎて、び
しょびしょになることも。(わざとかな?^^)



